



学校だより

しいば川

嬉野市立轟小学校 教育目標

みんながつくる みんなの学校

「夢を持ち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成」

第3号 2025(R7).7.18 文責:校長 北村 英



有意義な夏休みをお過ごしください

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。いつも有り難うございます。

4月からの4ヶ月間を振り返ると、6年生の子どもたちを中心に、どの学年も素晴らしいがんばりを見せてくれました。1年生を迎える会や春遠足、運動会では、最上級生として学校の雰囲気盛り上げ、積極的に下級生をリードする6年生の姿がありました。登校班や委員会活動・クラブ活動でも素晴らしい活躍でした。そんな6年生を手本として、1～5年生も自分たちにできることを考えて、それぞれにがんばった1学期前半でした。



今年は梅雨明けが観測史上最も早く、熱中症予防対策のために授業参観（水泳指導）などいくつかの行事が中止または延期、開催場所の変更等を余儀なくされました。また、7月からは校時表の変更に加えて全校一斉下校となり、保護者の皆様にご負担をおかけしたこともあったかと存じます。おかげで、無事に1学期前半の教育活動を終えることができました。本当に有り難うございました。

さて、明日から子どもたちが心待ちにしていた夏休みが始まります。今年の夏休みは、8月24日までの37日間です。この長い夏休みが、これまでの学習を振り返る良い機会となるとともに、普段の学校生活ではできないような体験を通して、心豊かに成長できる貴重な時間となることを願っております。嬉野の豊かな自然に親しんだり、ご家族や地域の方々とふれあったりと、たくさんの思い出をつくって欲しいと思っています。また、宿題や課題に取り組む時間を確保するとともに、規則正しい生活リズムを保つようご指導をお願いいたします。また、水の事故や交通安全、熱中症などには十分な注意が必要です。お子様の健康と安全を第一に、楽しく充実した夏休みをお過ごしただけですよう、ご家庭と学校が連携して支えてまいりたいと考えております。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

デジタル機器を使う時のルールづくりについて

先日のマチコミメールでお知らせしておりますが、轟小学校PTAでは、未来を生きる子どもたちが心と身体の健康を守りつつ、未来を「生きる力」を身に付けることができるようになるために、家庭において子どもがデジタル機器を使用する時のルールづくり・見直しに取り組んでいます。先週末には、夏休みに向けて、親子での話し合いをお願いしたところです。ルールづくり・見直しはできたでしょうか？

子どもさんとの話し合いができていないご家庭については、学校ホームページに下記の資料を掲載していますので、これもとに組みを組みをお願いします。

「家庭の使用ルール100%」を目指しましょう！

- ・別紙リーフレット「デジタル機器を使う時の家庭のルールをつくりましょう！」
- ・全校朝会での校長講話プレゼン資料

長い長い夏休みです。子どもたちにとって、自由な時間がたっぷりあります。その時間の多くをゲームや動画視聴などに使うことがないよう、ご家庭での取組を重ねてお願いいたします。

デジタル機器を使う時の家庭のルールをつくりましょう！

【デジタル機器を使う時の家庭のルールをつくりましょう！】
 轟小学校PTAでは、未来を生きる子どもたちが心と身体の健康を守りつつ、未来を「生きる力」を身に付けることができるようになるために、家庭において子どもがデジタル機器を使用する時のルールづくり・見直しに取り組んでいます。

【家庭の使用ルール100%】を目指しましょう！

・別紙リーフレット「デジタル機器を使う時の家庭のルールをつくりましょう！」
 ・全校朝会での校長講話プレゼン資料

長い長い夏休みです。子どもたちにとって、自由な時間がたっぷりあります。その時間の多くをゲームや動画視聴などに使うことがないよう、ご家庭での取組を重ねてお願いいたします。

【デジタル機器の使用時間】

学年	ゲーム	動画視聴	その他
1年生	0分	0分	0分
2年生	0分	0分	0分
3年生	0分	0分	0分
4年生	0分	0分	0分
5年生	0分	0分	0分
6年生	0分	0分	0分

※学年が上がるにつれて、使用時間が長くなる傾向にあります。
 ※学年が上がるにつれて、使用時間が長くなる傾向にあります。
 ※学年が上がるにつれて、使用時間が長くなる傾向にあります。

本校の働き方改革の取り組みについて

高い志と理想、郷土への誇りをもってたくましく生きる子どもを育むには、教師が教育活動に専念できる環境づくりが必要不可欠です。そのため、本校では佐賀県教育委員会、嬉野市教育委員会とともに、学校における働き方改革の取組を進めています。しかし、時間外勤務時間等をみると、多忙化解消につながる取組が十分に効果を上げているとは言えないのが現状です。我々教職員が子どもたちと関わる時間、教師としての専門性の向上につながる研修等に充てる時間、自らの心身の健康の保持につながる余暇活動・休養等に充てる時間を確保するために、さらなる業務改善を図ることが重要かつ喫緊の課題となっています。

2019年1月、中央教育審議会が「学校における働き方改革の取組状況について」を公表しました。概要については、下記のURLから資料をご覧ください。この中に、**学校における働き方改革の目的**が書かれています。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/icsFiles/afieldfile/2019/04/18/1415607_1.pdf

ここで、これまでの本校の働き方改革の取組を保護者の皆様にも知っていただき、今後のさらなる業務改善に向けた取組について保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以下、本校における働き方改革のこれまでの取り組みです。

【業務の効率化】

- ・校時表の見直し ⇒ 放課後の時間の確保 ⇒ 教員のゆとりを生み出す ⇒ 児童と向き合う時間を確保する
- ・家庭学習におけるA Iドリルの活用 ⇒ 個別最適化された課題に取り組みつつ、担任の負担を軽減する
- ・校務分掌の平準化・・・年度当初に大きな差が生まれないように振り分け、年度途中でも適宜変更する
- ・連絡会の削減・・・木曜日の朝の連絡会を廃止する
- ・職員会議の削減 ⇒ 各プロジェクトの主体性を活かす ⇒ 全体での協議時間を減らす
- ・ペーパーレス会議 ⇒ データ作成（事後活用）、印刷・事前配付することで会議時間を縮減する
- ・学校だよりの精選 ⇒ 「学校ブログ（PW付き）」でのタイムリーな情報発信を行う
- ・マチコミメールの活用 ⇒ 担任から保護者へのお知らせ ⇒ 学級通信の回数を減らす
- ・大型モニター設置 ⇒ Web行事黒板⇄掲示板 交互に表示させることで、職員室行事黒板を廃止する
- ・Chat GPTの活用 ⇒ 保護者向け文章作成等で活用する 今後のさらなる活用を促進する
- ・各種アンケートのデジタル化：Googleフォームの活用 ⇒ 集計業務を簡素化する
- ・Google Meetの活用 ⇒ 全校朝会の効率的な実施（移動時間を無くす、暑さ・感染症対策にも）

【勤務条件】

- ・定時退勤日を設定する（毎週水曜日）
- ・最終退勤時刻を設定する：月・火・木・金：～19:00 水：～17:30
それ以上の時間外勤務が必要な場合は、管理職への事前連絡する

【休暇取得】

- ・年休を、一人あたり「年間14日取得」を目標に掲げる（県の取り組み）
- ・長期休業中の年休取得を促進する
- ・「轟小リフレッシュ休暇」の導入 ⇒ 年休を取得しやすい職場の雰囲気づくり



「学校かくれんぼ」で盛り上がりました！

本日、運営委員会と6年生が中心となって企画された「学校かくれんぼ」が実施されました。これは、代表委員会で各学年から要望が出ていたもので、今年から掲げられた「みんながつくる みんなの学校」というスローガンの実現に向けた取り組みとなりました。某テレビ番組の企画ですが、これを実現するのは並大抵のことではありません。運営委員会が中心となり、6年生が全校のみんなを楽しませようと、先月から昼休みや休み時間も使って準備を進めてきました。教員主導ではなく、子どもたちがアイデアを出し合い、課題を1つ1つ解決しながら準備を進めてきたところに、この取り組みの価値があると思います。

本番は、安全性を確保するために、子どもたちや先生方を校舎内に配置し、リアルタイムで進行状況を全校に伝えるために、タブレットPCのGoogle Meetを駆使していました。

今回は6年生が隠れる役、1～5年生が見つける役でした。

その結果は・・・。

活動を終えた運営委員会メンバーの表情に、この取り組みの成果が表れていました。子どもたちが「主体性」を発揮した素晴らしい取り組みでした！

詳細は、学校ホームページの学校ブログで紹介いたします。
ぜひご覧ください。

